



(写真) @CarnetDLaPatria “マドゥロ政権の「祖国システム」を通じた補助金支給内容について紹介”

マドゥロ政権の補助金支給

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

マドゥロ政権は現金支給型の支援を多く行っている。

ただし、これら補助金関連の情報はまとまっておらず、メディアで報じられることも稀なので、実際に受け取る側にならない限り、支給の実情を把握するのは難しい。

そこで本稿ではマドゥロ政権が支給している補助金について紹介したい。補助金の支給実態を把握することでマドゥロ政権からどのような援助を受けているのかを理解できるだろう。

現金支給インセンティブで1800万人登録

マドゥロ政権の現金支給制度は「祖国システム (Sistema Patria)」をベースに構築されている。

「祖国システム」とは、2017年に始まったシステムで、いわば第2の身分登録と言える。

マドゥロ政権は同システムを通じて、アンケート・生活実態調査・政府が行うプロジェクトの宣伝などを行っている。登録は義務ではないが、インセンティブとして登録者への現金支給を行っている。

マドゥロ政権の直近の発表では、少なくとも1,800万人が登録済みだという。

登録者へのランダムな現金支給も

「祖国システム」による現金支給は様々なタイプがある。

例えば、世帯の人数に応じて補助金が支給される

「Hogares de la Patria」や難病・障害を持つ家族がいる世帯に支給される「José Gregorio Hernández」、小・中学校に通う児童がいる世帯を対象に支給される「100% Escolaridad」などは毎月定期的に補助金が支給される。

一方「Economía Familiar」という補助金は、登録者全員に支給されるわけではなく、登録者に対して毎月ランダムに支給される。支給基準などは明らかにされておらず、マドゥロ政権に協力的な登録者（アンケートなどで判断）が優先的に登録されるとの憶測もある。

他、「独立記念日」「労働の日」「良い政府計画を開始して一周年記念」など特別な日を記念して、単発的に現金補助金の支給を発表する場合がある。この種の現金支給は登録者全員ではなく、ランダムに支給されることが多いようだ。

登録者に応じた様々な補助金

実際に5月に支給された補助金を紹介したい（次ページのリスト参照）。

なお、祖国システムを通じた現金支給の情報はまとまった情報がなく、次ページのリストは、筆者が関連記事・政府発表などを確認してまとめたものになる。

全て掲載されていると思うが、一部抜け・漏れなどがある可能性はご理解いただきたい。

各補助金の目的・支給条件をリストの上から順番に紹介したい（前段ですでに紹介が済んでいる補助金は除く）。

「Lactancia Materna」

乳児を養っている女性を対象に支給される。

「Parto Humanizado」

妊娠中の女性を対象に支給される。

「100% Amor Mayor」

60歳以上の男性、55歳以上の女性を対象に支給される。

「Bono Beca Universitaria」

大学生を対象に支給される。

「Bono Beca Educación Media」

高校生を対象に支給される。

「Bono Chamba Juvenil」

新社会人を対象に支給される。

「Bono Somos Venezuela」

Somos Venezuela（政府系支援組織）の登録者を対象に支給される。

「Bono Cultores Populares」

文化省に登録された芸術・文化関連の仕事に従事する人を対象に支給される。

「Bono Buen Pastor」

宗教関連の仕事に従事する人を対象に支給される。

以降の補助金は特徴的な仕組みのため、4ページ目で紹介したい。

表：祖国システムの現金支給型補助金リスト（2023年5月時点）

	補助金名	支給条件等	金額		支給 頻度
			支給額	ドル換算	
1	Hogares de la Patria	単身	Bs. 52.8	USD. 2.01	毎月
		2人家族	66.0	2.51	
		3人家族	99.0	3.77	
		4人家族	132.0	5.03	
		5人家族	165.0	6.29	
		6人家族	198.0	7.54	
2	Economía Familiar		Bs. 72.0	USD. 2.74	毎月
3	100% Escolaridad		Bs. 72.0	USD. 2.74	毎月
4	José Gregorio Hernández		Bs. 108.0	USD. 4.11	毎月
5	Lactancia Materna		Bs. 144.0	USD. 5.49	毎月
6	Parto Humanizado		Bs. 144.0	USD. 5.49	毎月
7	100% Amor Mayor		Bs. 130.0	USD. 4.95	毎月
8	Bono Beca Universitaria		Bs. 135.0	USD. 5.14	毎月
9	Bono Beca Educación Media		Bs. 135.0	USD. 5.14	毎月
10	Bono Chamba Juvenil		Bs. 135.0	USD. 5.14	毎月
11	Bono Somos Venezuela		Bs. 135.0	USD. 5.14	毎月
12	Bono Cultores Populares		Bs. 360.0	USD. 13.71	毎月
13	Bono Buen Pastor		Bs. 360.0	USD. 13.71	毎月
14	Corresponsabilidad y Formación	防衛省、電気エネルギー省	Bs. 1200.0	USD. 45.71	毎月
		電力公社、大統領府の職員	7200.0	USD. 274.29	
15	Bono Tuitero Patria	1000Tw/週 1等級	Bs. 85.0	USD. 3.24	毎月
		650Tw/週 2等級	74.0	2.82	
		350Tw/週 3等級	60.0	2.29	
		200-300Tw/週 4等級	42.5	1.62	
16	Bono contra la Guerra Económica	公務員	Bs. 750.0	USD. 28.57	毎月
		公務員年金者	1225.0	46.67	
		年金者	500.0	19.05	
17	Primer Bono Especial	労働の日記念	Bs. 100.0	USD. 3.81	特別
18	Segundo Bono Especial	良い政府計画1周年記念	Bs. 100.0	USD. 3.81	特別

(出所) 各種報道より作成

※1 ドル換算は、Bs.26.25/USD (5月29日時点の両替テーブル平均為替レート) で計算

※2 青塗りの補助金はランダムで支給、緑塗りの補助金は単発の支給

特別な条件で支給される補助金も

「Corresponsabilidad y Formación」

防衛省・電気エネルギー省・電力公社 (Corpoelec) ・大統領府の職員 (元職員含む) の一部役職者を対象に支給される補助金。

支給額は役職に応じて月額 Bs. 1, 200 (45.71ドル) ~ 7, 200 (274.29ドル) と幅広く、他の補助金よりも金額が大きい。

この補助金は、マドゥロ政権が戦略的に重要視している分野で、離反されると困るような組織の高官をつなぎとめるために支給をしていると思われる。

「Bono Tuitero Patria」

祖国システムの登録項目の中に「ソーシャルメディア」という項目があり、そこに Twitter アカウントを登録することができる。

登録した Twitter でマドゥロ政権の宣伝情報をリツイートで拡散・補助金需給をツイートするなど政府の広報活動に協力することで、その回数に応じて4等級~1等級まで等級分けされ、支給額が変わるといふもの。

1等級の月額85ボリバル(約3.24ドル)を受け取るために週1,000ツイートと効率が悪いように見えるが、最低賃金が月額約5ドルであることを踏まえれば、やる人もいるのだろう。

「Bono contra la Guerra Económica(経済戦争補助)」

「米国から経済制裁を受けたことで生活苦に見舞われた国民を支援する」という名目で支給される補助金。

「月額最低収入」(最低賃金+セスタチケット+経済戦争補助) に組み込まれている補助金である(月額最低収入については「[ウィークリーレポート No.304](#)」

「[ベネズエラ・トゥデイ No.908](#)」参照)。

支給額は、現役公務員は月額750ボリバル、セスタチケット(食料補助)を受け取っていない公務員は月額1,225ボリバル、社会保険庁(IVSS)の年金受給者は月額500ボリバルとなっている。

少ないものの重要な収入源

23年5月時点の「月額最低収入」はドル換算で75ドルだが、祖国システムに登録することで、最低賃金労働者だとしても追加の現金支給を受け取っている人も多いだろう。

例えば、「3人家族(Bs.99)」、父親は「セスタチケット(Bs.1000)」を受け取る最低賃金(Bs.130)の「現役公務員(Bs.750)」で「Twitterで積極的に政府の宣伝活動をしている(Bs.85)」。妻は「妊娠中(Bs.144)」。子供は「小学生(Bs.72)」。などの条件が揃った場合、月額Bs.1,530(99.7ドル)を受け取ることになる。

つまり、月額最低収入+ α で約25ドルを補助金として追加で受け取っていることになるだろう。少ないものの重要な収入源の1つと言えそうだ。

以上